

# あじさいだより

令和6年3月号



社会福祉法人晃宝会

特別養護老人ホームあじさい園

<http://www.ajisaien.or.jp/>

アナタ ポリビア

奈良県出身の秋元広行氏率いるANATA(アイマラ語で祭りという意味)という名前のポリビアを代表するフォルクローレグループのコンサートにご招待いただきました。秋元氏は23才の時、フォルクローレ音楽にみせられ、単身ポリビアに渡られました。その時ご両親には「一年間ポリビアに行ってください」と言っていて日本を離れ、6年後にやっと一時帰国、お父様からはポリビアの一年はずいぶん長いのだなあと驚かれたそうです。23年間ラパス在住の間、大統領のための演奏会、世界で活躍し日本を発信する日本人63名に選出されるなど。世界最高峰の平和の都ラパスで結成されたアナタポリビアは、今ではポリビア文化推進の功績を讃えられるグループです。

ポリビアは南米、ブラジルの隣、国土は日本の3倍、そのうち3分の1が高いところ、3分の2がアマゾン川流域の熱帯。アンデス山脈標高3800mの首都ラパスがどれ程空気が薄いかというと、口を閉じさらに左の鼻の穴を閉じ右の鼻の穴だけで呼吸している感じだそうです。

バンドメンバーは、6名10弦のチャランゴ、サンポーニャは大中小とあり、それぞれポニョ、チュリ、マルタと呼び、たて笛のケーナは黒皮でできていて、たいこのボンボはやぎの皮です。ベースやドラムもあり、秋元氏はギターとボーカルです。

高山ラパスの人々は肺活量がおとろぎで、少しの酸素でも長く笛を吹くことができます。20曲の演奏のうち半分以上は秋元氏の作詞作曲でポリビアの大自然や愛や花を表現、又、ケーナやサンポーニャのための曲もありました。もちろんフォルクローレで有名なコンドルが飛んでいくや、花祭りも演奏され、ポリビアの民族楽器の、やさしさたくましさをおこなえだフォルクローレの澄んだ音色が心に染み入り感動いたしました。ポリビアの医療はせい弱であるため、コロナ感染症により多くの国民が亡くなられたとのこと。亡くなられた方も残された方も皆、幸せな時間、一緒に過ごした時間を忘れないでほしいという願いで「忘れないで」という曲も復興のひびきとして演奏されました。フォルクローレにある地球の真裏のアンデスの人々の愛や伝統、魂、そしてアナタ(祭り)の心を音楽を通して知ることができました。このような機会をいただきありがとうございます。

## 2/3 節 分 会

赤鬼と青鬼の登場に、みなさまびっくりされていましたが、優しい鬼だとわかると、大人気で引っ張りだこになりました。

お茶のおともに、節分に因んだ豆菓子やお饅頭をつまみながらおしゃべりし、「まだまだ寒いけど、もうすぐ春がくる



## ◎ご家族面会を再開しております。

この度のコロナ感染症ではご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

おかげさまで、短期間で無事終息を迎え、3/12より面会再開となりました。

お電話にてご予約を承りますので、マスク着用にて消毒と検温の上、玄関ホール内でご面会下さい。

1回15分程度でご協力お願い致します。

面会当日は、体調について再度ご確認の上ご来園いただきますよう、お願いいたします。



### 3月行事予定

3日(日) ひなまつり

11日(月) 喫茶

17日(日) 誕生日会

25日(月) 喫茶